

◆ コスモスの秋から紅葉の秋・2025 年師走へ 神戸の街で 2025.12.27.発信 神戸便

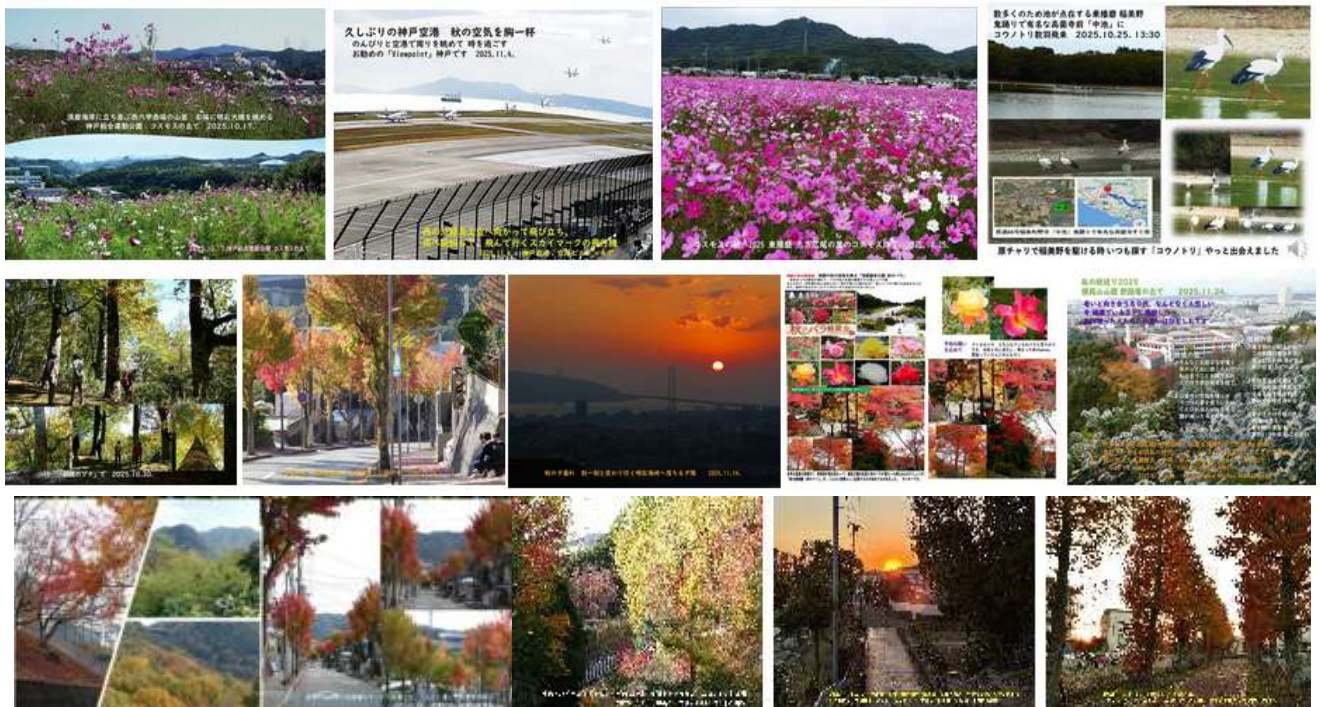


街のリニューアルが進み、活気が出てきた神戸の街 2025 師走 神戸の街の夜を彩る「ルミナリエ」の灯が1月に移行して、  
 ちょっぴり寂しくなっていました。 「海・山・街の素晴らしい秋景色」が街を彩る中、神戸の街の改造が急ピッチで進む神戸  
 神戸の港から神戸の街を眺める新スポット新港第3突堤「TOTTEI」 “ジーライオン アリーナ”誕生  
 神戸の街の新しい息吹 活気が出てきた神戸の街の師走です 2025.12.8. 神戸三宮の街で

◆ 10月コスモスの秋から11月紅葉の素晴らしい秋景色 そして師走へ 2025.12.2.発信

本年も秋が猛スピードで駆ける短い秋 街は一機に紅葉して 初めて気が付いた素晴らしい神戸の街の秋景色

神戸 紅葉の秋 2025 10・11 月 神戸からの秋便り



でも、世相は混乱 老い行く身には厳しい世相 高度情報社会の歪が見え隠れ 厳しい時代を生き抜かねば…と

HP 「和鉄の道 2025」の一年を振り返りつつ みんなみんな ありがとう 感謝です

God Be With You!! & You Raise Me Up 今日も一日 "Nice Day!!"

あっという間に 師走を迎え From Kobe Mutsu Nakanishi

◆ コスモスの秋から紅葉の秋・2025 年師走へ 神戸の街で 2025.12.27.発信 神戸便

収録1. 新聞・web 収録【1】 今秋他人事とは思えぬ里への熊出没と人身被害続出 最も対策が進んでいるという兵庫県の実況と対策

収録2. 文珍さんの落語的見聞録 神戸新聞9・10・11月掲載整理転記

収録3. 新聞・web 収録【2】 【1】 神戸新聞「正平調」・より眺めた世相 【2】 神戸新聞<汀にて> 鷺田清一氏「木漏れ日のように

密室の関係ほどく力を」 【3】 本年ノーベル賞受賞の北川進氏・坂口志文氏 日本の科学技術力の将来を憂う

本文: <https://infokkna2.com/ironroad2/2025htm/2025mutsu/fkobeR0711.pdf>

収録: <https://infokkna2.com/ironroad2/2025htm/2025mutsu/fkobeR0711tenpu.pdf>

本文+収録: <https://infokkna2.com/ironroad2/2025htm/2025mutsu/fkobeR0711Sougou.pdf>



## 10月・11月 神戸の街の秋景色photo

### コスモスの秋から紅葉の秋へ

#### 1. 10月 うれしいコスモスの秋到来

真っ青な空 大空見上げて 秋の空気を胸一杯

秋の風にゆらゆらと揺られる姿が愛らしい |

◎ 神戸総合運動公園 コスモスの丘で 2025.10.17.

◎ 毎年訪ねる加古川西岸 志方町 尾の里のコスモス畑で 2025.10.25.

◎ 幸福を運ぶコウノトリ飛来 うれしい出会いに 2025.10.25. 13:30

ため池が点在する 稲美野の田園地帯鬼廻りで有名な高田寺前「中池」で

#### 2. 11月 素晴らしい紅葉の秋 秋景色

◎ 妙法寺・名谷界隈の街紅葉 刻々と変化するその美しさにははっと気が付く

【1】夕暮れ 横尾道 & 須磨明石海峡に落ちる夕陽 2025.11.14.

【2】山麓バイパス沿い 名谷ニュータウン 団地をつなぐ街紅葉 2025.11.14.

【3】妙法寺 若草の丘の街紅葉 再認識した街紅葉の美しさ 2025.11.15.-24.

◎ 私の秋送り2025 野路菊の花満開の横尾山山腹 野路菊の丘で

兵庫の秋の風物詩：兵庫県の花 真っ白な小菊 2025.11.24.

真っ白になった丘で、ゆっくりと仲間を思い浮かべつつ、いっときを過ごす

◎ 須磨の秋の風物詩 咲き誇る大輪の秋のバラ & 赤紅葉の離宮東ゾーン

須磨の秋の掃尾を飾る須磨離宮公園秋のバラ 2025.11.24.

#### 3. 11月 混迷を深める世相 この秋 気になった世相

神戸新聞コラム「正平調」等より

ノーベル賞受賞の北川・坂口両氏日本の科学技術力 将来憂う

神戸新聞 朝刊「灯にて」鷺田清一 木漏れ日のように密室の関係ほどこ力

#### 4. 文珍さんの落語的見聞録 神戸新聞

9月 国民が食い物にならぬよう

10月 いい仲間さん 政界にいれば

11月 せっかくかつぎあげたけど

#### 5. 仲間からの定期便

#### 6. 更新概要

幸福を運ぶコウノトリ飛来 うれしい出会い

本当にラッキーでした 2025.10.25. 13:30

数多くのため池が点在する加古川東岸 稲美野の田園地帯鬼廻りで有名な高田寺前「中池」に



#### 2025年「和鉄の道・Iron Road」を振り返って

HP 和鉄の道 2025年掲載記事

【和鉄の道・Iron Road 2025：鉄の話題 全16編】

■ 限鉄素材による限鉄器原始製造復元 鉄創世紀プロジェクト通信の転記 6篇

■ たたら製鉄・たたら歴史の関連 3篇

■ インターネット・新聞ニュース：低炭素社会実現へ 日本の鉄鋼再生の道 7篇

◆ その他 Review Document 2篇

◆ スライド 動画 1件

【風来坊・Country Walk2025 全28篇+積み残し2件】

■ 近畿 walk 27篇

■ その他 各地walk 0篇

◆ その他 Review Document 1篇

◆ スライド 動画 27件+積み残し2件

【四季折々・From Kobe 全9篇+収録添付16件】

■ 神戸季節の便り 9篇

▼ 神戸季節の便り収録

◎ 柱文珍落語的見聞録 神戸新聞 整理転載 6篇

◎ 気になるニュース インターネット・神戸新聞コラム他 10篇

## < 10月コスモスの秋から11月紅葉の素晴らしい秋景色

ポストコロナ 世界的な社会変革の新時代 スマホが高度情報社会の必須ツールとなった高度情報社会 地球温暖化が引き起こす激甚災害も我が身に迫る。

低炭素社会・AI等々新しい時代に夢を膨らませましたが、次々とそのほころびが見え隠れ。

昨今 世界的な物価高騰を止まらぬ大国の横暴といまだに収まらぬ悲惨な戦禍。

国際協調ではどうにもならぬ大国の横暴とあつという間に

真偽を問わず世界に拡散する情報とそれを利用する人の群れ。

選挙ジャックまで起こったこの秋。幾つになっても気になる日本の生きる道です。

ドジャース 大谷選手の活躍にかじりつき、家時間が増えたこの秋、酷暑の影響か、10・11月 一度に秋の草花も咲いて、コスモスの秋から紅葉の秋へ

まれに見る美しい秋景色になりました。

また、社会インフラの社会老化の露呈と共に、街中に現れた熊騒動と高騰する米騒動も社会を揺るがす大事件。

80歳を超えて、なんとなく人恋しく 今までとは違うと感じる毎日ですが、

“仲間の元気はみんなの応援歌!! God be with You!! とみんなにエールを送りつつ

“家族共々 健康でいることに感謝して、今日も一日 Nice Day !! “とわが身を奮い立たせる毎日

あつという間に秋から師走に 勝手気ままな風来坊 久しぶりにHP更新 神戸からの便りです

厳しい世相 色んな事が起こる時代 無理せず、元気で毎日を

あい変わらず デジカメ片手の風来坊

採りだめたデジカメ画像や新聞やインターネットで見た記事の

切り取り収録。勝手なものばかりのメモですが、何かのお役に立てばと。

from Kobe 2025.12.15. Mutsu Nakanishi

この秋楽しみにしていた氷ノ山の山腹を巡る氷ノ山林道秋の自然観察会にも参加。

紅葉が遅れているので、一週間遅らせてと聞きましたが、紅葉はまだ始まったばかり。

でも、氷ノ山山腹のブナ林の美しさ。兵庫県にもこんな美しいブナ林がある

また、この春自然観察ができなかった横濱溪谷。もう“秘境”

交通の便が悪いので、すぐお勧めは出来ませんが、山麓を基地にきっちり情報を集めての

walkお勧め。 2025.10.30. 秋の氷ノ山林道自然観察会に参加して

■ 本年の秋 他人事とは思えぬ里への熊の出没と人身被害の続出 兵庫県の現状と対策

兵庫県の熊出没の現状と対策のレクチャーもきっちり受けました

【熊出没情報 資料添付：】 本年の秋 話題になった熊の街出没と対策

一番対策が進んでいると言う兵庫県

【掲載2025.12.15日付】 2025年12月 2025年12月

【掲載2025.12.15日付】 2025年12月 2025年12月

【掲載2025.12.15日付】 2025年12月 2025年12月

【掲載2025.12.15日付】 2025年12月 2025年12月

【掲載2025.12.15日付】 2025年12月 2025年12月

【掲載2025.12.15日付】 2025年12月 2025年12月

【掲載2025.12.15日付】 2025年12月 2025年12月

【掲載2025.12.15日付】 2025年12月 2025年12月

【掲載2025.12.15日付】 2025年12月 2025年12月

【掲載2025.12.15日付】 2025年12月 2025年12月

【掲載2025.12.15日付】 2025年12月 2025年12月

【掲載2025.12.15日付】 2025年12月 2025年12月

【掲載2025.12.15日付】 2025年12月 2025年12月

【掲載2025.12.15日付】 2025年12月 2025年12月

【掲載2025.12.15日付】 2025年12月 2025年12月

【掲載2025.12.15日付】 2025年12月 2025年12月

【掲載2025.12.15日付】 2025年12月 2025年12月

【掲載2025.12.15日付】 2025年12月 2025年12月

【掲載2025.12.15日付】 2025年12月 2025年12月

【掲載2025.12.15日付】 2025年12月 2025年12月

【掲載2025.12.15日付】 2025年12月 2025年12月

【掲載2025.12.15日付】 2025年12月 2025年12月

【掲載2025.12.15日付】 2025年12月 2025年12月

【掲載2025.12.15日付】 2025年12月 2025年12月

【掲載2025.12.15日付】 2025年12月 2025年12月

【掲載2025.12.15日付】 2025年12月 2025年12月

【掲載2025.12.15日付】 2025年12月 2025年12月

【掲載2025.12.15日付】 2025年12月 2025年12月

【掲載2025.12.15日付】 2025年12月 2025年12月

【掲載2025.12.15日付】 2025年12月 2025年12月

【掲載2025.12.15日付】 2025年12月 2025年12月

【掲載2025.12.15日付】 2025年12月 2025年12月

【掲載2025.12.15日付】 2025年12月 2025年12月

【掲載2025.12.15日付】 2025年12月 2025年12月

【掲載2025.12.15日付】 2025年12月 2025年12月

【掲載2025.12.15日付】 2025年12月 2025年12月

【掲載2025.12.15日付】 2025年12月 2025年12月

【掲載2025.12.15日付】 2025年12月 2025年12月

【掲載2025.12.15日付】 2025年12月 2025年12月

【掲載2025.12.15日付】 2025年12月 2025年12月

【掲載2025.12.15日付】 2025年12月 2025年12月

【掲載2025.12.15日付】 2025年12月 2025年12月

【掲載2025.12.15日付】 2025年12月 2025年12月

【掲載2025.12.15日付】 2025年12月 2025年12月

【掲載2025.12.15日付】 2025年12月 2025年12月

【掲載2025.12.15日付】 2025年12月 2025年12月

【掲載2025.12.15日付】 2025年12月 2025年12月

【掲載2025.12.15日付】 2025年12月 2025年12月

【掲載2025.12.15日付】 2025年12月 2025年12月

【掲載2025.12.15日付】 2025年12月 2025年12月

【掲載2025.12.15日付】 2025年12月 2025年12月

【掲載2025.12.15日付】 2025年12月 2025年12月

【掲載2025.12.15日付】 2025年12月 2025年12月

【掲載2025.12.15日付】 2025年12月 2025年12月

【掲載2025.12.15日付】 2025年12月 2025年12月

【掲載2025.12.15日付】 2025年12月 2025年12月

【掲載2025.12.15日付】 2025年12月 2025年12月

【掲載2025.12.15日付】 2025年12月 2025年12月

【掲載2025.12.15日付】 2025年12月 2025年12月

【掲載2025.12.15日付】 2025年12月 2025年12月

【掲載2025.12.15日付】 2025年12月 2025年12月

【掲載2025.12.15日付】 2025年12月 2025年12月

本当に色んな事があった一年。あつという間に1年が経ってしまいました。今までとは違うと感じる“これが老化か?”と向き合う一年。振り返れば、行動半径も狭まり神戸で毎日を過ごした一年。身体能力は衰えましたが、まだまだ好奇心もあり、足も動く。毎日散歩で眺めた景色やweb・新聞で知った情報を集めて動画にして、行動記録メモにしてHP 掲載した1年。もう掲載したFile を引っ張り出す事もないが、激動の時代の生のデータ記録。

特に近年のスマホの時代になって、「真偽がわからぬ情報の氾濫 それも「数頼み・刹那の無責任さ」。

少数の意見も真摯に受け止め、聞き入れる余裕代がなければ決して革新の時代は生まれない

「老年高齢者は早く 表舞台から退陣せよ」との声を意識しつつも、なんとか穏やかな未来が訪れるようにと願う一年でした。

「瓢箪から駒」「おもいがけぬ会話・討論」が引き金のアイデアは数知れず。片隅にこんなData も残っていると。

多くの人に助けられつつ、生かされていると感じる一年。知識や多数同調が知恵や多様性理解へ昇華して

社会変革の尺度になってほしいとまた勝手なぶつぶつです。ありがとうございます。

お互い今元気でいることに感謝しつつ、来年も前向いて。2025年師走 From Kobe Mutsu Nakanishi



## 1. 10月 うれしいコスモスの 秋 到来

真っ青な空 大空見上げて 秋の空気を胸一杯 丘の斜面一面にコスモスの花 秋の風にゆらゆらと揺られる姿が愛らしい

◎ 神戸総合運動公園 コスモスの丘で 2025.10.17.



猛暑が続く近年の夏厳しい暑さに夏の花の手入れが困難になって、近隣の里では休耕田を利用したコスモス畑栽培が欠々と消えてゆく。そんな中で、元気に咲くコスモスの花は神戸の街の秋の風物詩。

花の数は随分少ないですが、ピンクの花が風に揺られる姿健在

◎ 毎年訪ねる加古川西岸の田園地帯 志方町広尾の里のコスモス畑で 2025.10.25.



四季折々訪ねる志方の郷 右手に志方城山の麓広尾の里にピンクの帯が見える

もう、時期が遅れたのでは?と心配でしたが、間に合った……

◎ 幸福を運ぶコウノトリ飛来 うれしい出会い 本当にラッキーでした 2025.10.25. 13:30

数多くのため池が点在する加古川東岸 稲美野の田園地帯鬼踊りで有名な高菌寺前「中池」に



## 2. 11月 素晴らしい紅葉の秋 秋景色

◎ 妙法寺・名谷界隈の街紅葉 刻々と変化するその美しさにはっと気が付く

- [1] 夕暮れ 横尾道& 須磨明石海峡に落ちる夕陽 2025. 11. 14.
- [2] 山麓バイパス沿い名谷ニュータウン 団地をつなぐ街紅葉 2025. 11. 14.
- [3] 妙法寺 若草の丘の街紅葉 再認識した街紅葉の美しさ 2025. 11. 15. -24.



【1】神戸須磨の秋景色 夕暮れ 横尾道で 野路菊が咲き始めた丘 & 須磨明石海峡に落ちる夕陽 2025.11.14.

神戸須磨の秋景色 夕暮れ 野路菊が咲き始めた丘 & 須磨明石海峡に落ちる夕陽 2025.11.14.



【2】山麓バイパス沿い名谷ニュータウン 団地をつなぐ街紅葉 2025.11.14.



【3】妙法寺 若草の丘の街紅葉 再認識した街紅葉の美しさ 2025.11.15.-24.



◎私の秋送り2025 野路菊の花満開の横尾山山腹 野路菊の丘で 兵庫の秋の風物詩：兵庫の花 真っ白な小菊 2025.11.24.



◎ 須磨の秋の風物詩 咲き誇る大輪の秋のバラ & 赤紅葉の離宮東ゾーン 須磨の秋の掉尾を飾る須磨離宮公園秋のバラ 2025.11.24.



3. 11 月 混迷を深める世相

この秋 気になった世相 神戸新聞コラム「正平調」等より

全文収録: <https://infokkna2.com/ironroad2/2025htm/2025mutsu/fkobeR07|News.pdf>



神戸新聞11月の「正平調」より眺めた世相



ノーベル賞受賞の北川・坂口両氏 日本の科学技術力 将来憂う 神戸新聞 2025.12.11.朝刊より



神戸新聞 朝刊「汀にて」鷺田清一 木漏れ日のように密室の関係ほどく





◆ 北川清二 ノーベル化学賞 坂口氏文氏 ノーベル生理・医学賞受賞 両氏、日本の科学技術力の発展を要す



2025.12.11神戸新聞朝刊より、記者撮影整理

## 【2】神戸新聞<汀にて> 鷺田清一 木漏れ日のように密室の関係ほどく力を

神戸新聞 2025/10/29 汀にて より、整理転載

《ひとは、一人が別の一人の面影をそっくりみるようにしてきていません》

ずいぶん前のことになるが、大阪大学の大学院で哲学を学ぶ看護婦が口にしたことは、  
ケアする人とされる人。ケアがそういう二人の間に発生してあるのがそもそも歪なことの  
だということの認識は今日まで、わたしがケアというとなみを考えるときの基本にある。  
ケアというとなみが、ケアする人とされる人、たとえ家族内の二人だけに閉じているとき、  
その関係は往々にして裏切られる。ぎくしゃくしたやりとりが頻り、もがけばもがくほど空気は  
息苦しいものになって、やがて抜き差しならないフェイスに入る。  
そんなときに、たまたま筆談で目を立てる、だれかが語りかける、あるいはだれかの突然の  
来訪など予想もしない出来事が起こる。すると、もつれた関係がいったん壊れ、さらにその後の関係によっては  
ずかぬがらもどけるといことも起こる。

### ■ 偶然が噛みあう

介護をはじめとするケアの現場には、そのように偶然の力によって局面が変わるということがしばしば起こる。ケア  
には、主体間の関係というより以上に、場や出来事という面があるからだろう。  
だからケアの現場では、日頃からそのような偶発事が起こりやすい空気をつくっておくという工夫がなされる。  
たとえばあるホスピスのベテランナースは、きょうのやりとりはしんどくなりそうだなと予感するとき、  
「15分くらい経たないうちに、いざどきどきと聞かして」と同僚に頼むというふうで、  
いったんは偶然をわざと組み込んでおくということがある。  
そういう工夫、あるいは日記が日頃からできていなくても、しかし、偶然が計算外で起こるものだし、また家々  
のスタッフ本人にそうした余裕を求めるのは酷であろう。  
ケアは「世話」や「配慮」をはじめとして「してあげる」もののように認識されたりするが、むしろ思わぬ偶然に助け  
られるという面がかならずあるようにおもう。

東京工業大学（現・東京科学大学）の未来の人間研究センターが所行している『テクノロジーに抱かれはるかのか？』  
という冊子を読んでいて、ある記述に驚かされた。  
美学者の伊藤豆穂さんが、「与える」という行為がある瞬間をもってその結果をコントロールしようとするのに対し、  
「漏れる」というのは、結果に無関係なのに、全体としてはどこか暗い（か）みあひ、うまくいく、そういう事態がとて  
も大事だということだ。  
「漏れる」といえるのは、「漏れ」に「漏れ」、さらに「漏れ漏れ」というふうにネガティブに言われるけれども、  
あたりの情報をだんだん一定量漏れ出させておかないと、災害などの緊急時にはかえって危険だというのだ。  
ある程度の情報漏れがあるから、どこをまっ先にケアしたいかわかり、とっさにわかる。  
「漏れてしまうということが、社会性を生み出す」というのである。  
あらためて、漏れ漏れとおくべき力というものをとおもう。

### ■ 相対化する眼

かつて可能なでは、いろんな暮らし、いろんな主義が、見るとともに見えていた。  
とりわけ子どもには、その見えているということが重要な意味をもっていた。  
じぶんを、そしてじぶんの家族を、これがすべてと思うのではなく、つねに多くのなかの一つのありようとして相対化  
する眼がそのことで養われていた。だから、たとえば家族内の暴力事件の報道にふれても、それをいきなり一般化する  
ような性急さを制御できていた。  
現代、ほとんどの家族が鉄の扉で閉ざられた密室に住まうようになって、見るとともに見るそんな地域とその住民  
たちの暮らしにふれることが少なくなった。だから「普通」という感覚をもつのがぐんぐん少なくなってきた。代  
わりに、テレビやSNSで得られる社会情報にのまに感情的な反応をするようになった。

そういう反応がさらにメディアでタレントやインフルエンサーによって増幅され、根拠なしに「言い切る」ような発言  
が巷（ちまた）にあふれもする。

突拍子もないことを言い出すとおもわれるかもしれないが、わたしがいま、テレビ（といっても観る人は減る一方だ  
が）の番組制作に関係しているのは、ドキュメンタリーだ。  
それも歴史的な大事件ではなく、国内外のさまざまな地域での日々の暮らしを題材にしたもの。  
パラエティ―よりもむしろそうしたドキュメンタリーの映像が、かつて町なかを歩くときに見るとともに顔に入ってきた  
ように、いま密室の部屋でもBGGMのように眼と耳に入ってきたらいいなとおもう。  
それこそ木漏れ日のように。

鷺田清一先生の「木漏れ日のように密室の関係ほどく力を」は実にわかりやすく頭に入り、うれしく拝読。  
技術屋の私には「余裕しろ」「無駄は無駄ならず」「限界設計」等の言葉に通じる話。要は今の世、ぎすぎすしな  
さんなど言われていると。 また、社会性を養う観察眼「相対化する眼」の必要性も何かにつけて大切。  
「木漏れ日のように」??? 何だろうと思いましたが、うれしく、そうであらいたいなあ。  
「TVのドキュメンタリー」現場をありのままを見れると私も好き。それが一人一人の観察眼の養成に  
今日の正平調にもあった「相手を思う心」にも通じて、思いがけず色々なことが解きました。  
ありがとうございます。でも「相手を思う心」はやはりの「付度」とは別物です。

2025.11月 汀にてを讀んで From Kobe Watsu



#### 4. 桂 文珍さんの 落語的見聞録 神戸新聞掲載記事整理転記

9 月 国民が食い物にならぬよう 10 月 いい仲間さん政界にいれば 11 月 せっかくかつぎあげたけど

全文収録: <https://infokkna2.com/ironroad2/2025htm/2025mutsu/fkobeR0711Bunchin.pdf>

<桂文珍 落語的見聞録> 9月・10月・11月	
<1> 国民が食い物にならぬよう	2025. 9. 18.
<2> いい仲間さん、政界にいれば	2025. 10. 16.
<3> せっかくかつぎあげたけど	2025. 11. 20.

fkobeR0711Bunchin.pdf

神戸新聞朝刊

神戸新聞 next より

整理転記

#### <桂文珍 落語的見聞録> <1> 国民が食い物にならぬよう 2025/9/18

阪神タイガースが優勝したのと石破茂首相が辞任を表明したのが同じ日で、関西人のほとんどは阪神戦をTV中継で見ていて、石破さん辞任のニュースを知らないのでは…と思いきや、最近

はホットな情報はスマホで知る方が多いらしい。  
石破さんが総裁選に出たときは9人の候補者がいて、野球のチームでも作るのか？ どうして？

党首(投手)を選ぶ、投げる球は外角か？ いや内角(内閣)。  
なんてシャレを言っていたのだが、今回は5人の候補になりそう  
だという。この五人囃子(ばやし)、どうなることやら…

いずれにしても、国民の方を向いて政治をやってほしい。

物価対策や政治と金の問題等々、そこを皆さんはしっかり見定めていると思う。



そんな中、今年の夏、なんばグランド花月(NGK)の高座を終わってやれやれと思っていると、面会を希望している方がいて、その方はどうも私めが慶応大学で教鞭を執っていた時の教え子さんらしいとのこと。へー、懐かしいなあ…と。なお、その方は今、参議院議員だという。へーの連続。

会っても覚えていなかった。彼はもう3期目なんだとか。またまたへー。

いろいろと懐かしい話をして、向こうは私に先生と言っていたが、最後は私の方から「先生頑張ってね」と。  
いやはや、どっちがどうなのか。

いろんな教え子さんがいて、以前は全日空の機内でCAさんに「先生、ご無沙汰しています」とアメを二つ頂いて、ナメられたもんだ、なんて思ったこともあった。

それにしても政治の世界は大変なんだろう。国政だろうが市政だろうが難しい問題がいっぱい。

選挙の内幕、役所の裏側体験を基に書かれた本「市長たじたじ日記」では、著者の清水聖士(きよし)さんが、市長職を5期務め、衆議院選に出馬、落選となり、サルは木から落ちてサルだが、議員さんは落ちればタダの人、つぶしの利かない仕事…と赤裸々に語っておられ、フムフムとアツという間に読めた。面白い本だった。

「ライオンの祈り」という小噺(こばなし)では、

牧師さんがアフリカで布教活動をするうちにジャングルに迷い込む。そこへ突然、人食いライオン、

「ああ、今日で命が終わりか…助けたまえ」と祈ると、ライオンも十字を切って祈っている。助かった！

と思ったら、ライオンが「食事の前のいつものお祈りです」と、すさまじい。

いい政治になるよう祈りたい気分、だれだって食いものにされたくない。

(かつら・ぶんちん=落語家)

高市早苗氏 初めての女性首相誕生 男性ではやらぬ意外なパフォーマンスもあってか、若者から高齢者までの「大人気」をわずかみ。

トランプともうまくやったし、大型予算を組んで、物価対策。日本を読みがらせると怪気炎。

お金も活力も衰えた日本ですが、国債を大奮発しての積極財政。でも これみな借金で……

バックボーンはアベノミックスだと。つい最近まで流行った工程表は??? これからだと。

「見える化」はどうなんだ。いうがやすし。空手形にならぬよう。国民はみんなそれが怖い。

目の前にライオンならぬ大きな熊がいる。待ったなし さあ どうする。

落語の一席ではないので”どんでん”など起こらぬ。

大きな見栄も切ったし、大きな約束 新しい風が一般市民の隅々まで吹き渡るよう期待する。



日本人でノーベル賞を受ける方が2人も出るとは何と吉報。  
生理学・医学賞で坂口志文さん、制御性T細胞で病が治り、  
化学賞では北川進さんが金属有機構造体なるもので、  
狙った物質を自在に閉じ込めるという。  
これらは人類にとって夢を与えてくれる。  
世界の病のような戦争や困った出来事を治したり、  
閉じ込めたりする法はないものか…とふと思う。  
そんな吉報の中、国内の政局は混沌としている。



昔、フォークグループ「古井戸」が歌ってヒットした「さなえちゃん」という曲があった。

「J大学ノートの裏表紙にさなえちゃんを描いたの…でも鉛筆で描いたからいつのまにか消えたの…」。

自民党の総裁に高市早苗さんがなり、そのまま総理大臣になるのかと思いきや、  
公明党が自公連立を白紙に…とのこと。さあ、大変。国民民主の玉木さん？ 野党連合になる？  
それとも公明の斉藤さん？ やっぱ、高市さん？と

臆測がとぶが、ふと昔、自民、社会、新党さきがけの時の村山富市元総理を思い出す。

当時、阪神・淡路大震災で、大変な時だったことと重なる。

今、村山さんは101歳になられ、お元気でマユ毛を伸ばし、寿命も延ばされている。

落語「厩(うまや)火事」。

夫婦げんかをし、亭主の本心を知りたいと髪結いのお崎さん、仲人に相談すると

「昔、孔子という人が大切にしていた白馬を留守の間に火事で失ってしまう。

帰宅した孔子は焼死した白馬のことは少しもふれず、家来の安否を尋ねただけ。

一方、ある屋敷の旦那は瀬戸物にこっていて奥方が大切な鉢を持ったまま階段からすべり落ちた時、  
鉢の方ばかり気にして奥方の体のことは少しもきかなかった。

人間の本心はこういうところであるもの、

おまえの亭主も瀬戸物が好きで集めているから、それを壊し、もしもおまえの体を心配してくれればよし、  
瀬戸物ばかり気にしているようなら別れてしまえ」と言う。

お崎、家に帰り、瀬戸物を壊す。亭主「どこもけがは無かったか？」の一言。

「ああ、やっぱりあんたはいい人、私の体が大きい？」

「当たり前よ。おまえがけがすると明日から遊んで酒を飲めねえ」と、よくできた噺(はなし)。

自公は元に戻らないのか？ 政治資金改革が大きなハードル。

政治の空白は困るのだ。いい仲人さん、いないのかなあ…。

(かつら・ぶんちん=落語家)

よく知られた落語「厩(うまや)火事」の噺。

返事は思い通りで、万々歳。でも、思いは別のところにある。よくあることだと笑い飛ばすもよし。

「ええ 悪いは別や。結果がすべてや」という話もよく聞かし、「それは結果論やないか」とも。

受け手はアプローチもよく知ってほしいと思っていることも…。

政治の世界はどうだろうか…。「大極は誤ってはならぬ」との言葉もある。でも 見誤らぬよう願いたい

鉄鋼には「鉄鋼は剛柔にして、時に応じて 其の態を変える」との言葉がある。頭に叩き込んだ言葉です。  
さあ、政権はどんなかじ取りをしてゆくのだろうか…



週に一度は実家の丹波篠山に戻ることにしているのだが、その節、必ずみなさん「クマに気をつけて」とおっしゃる。以前は「クルマに気をつけて」だったのに。今年ほどクマ出没のニュースを見たことがない。秋田ではあの「イオン」にクマが入ったとか。冬眠用のアウトドアグッズでも欲しかったのか、ワオンのポイントが欲しかったのか…。人との共存はなかなか難しい。



散歩も以前は暗いうちから歩き始めたが、最近は派手めの服で昼間に歩かないとクマに間違えられて、猟友会のオジサンに撃たれないとも限らない。何しろ猟友会の近所のオジサンも年だからなあ。

同じクマでもパンダは人気があって保護されている。みなに恐れられているクマはパンダをどう思っているのだろうか？白浜のパンダが中国に帰ってしまい、パンダロスの人もいるとか。この中国、もうパンダを貸してくれないだろう。何しろ高市早苗首相の台湾有事に関する答弁を機に日中の対立。中国の教育省は日本への留学計画を慎重に検討するようとか、渡航も当面控えるようにと注意喚起したとか。日本は中国にビジネス、文化、あらゆる面で影響を受け、互いの立場を尊重し合って今日がある。ここは外務省さんに頑張ってもらいたい。落語「二十四孝」。

少々暴れん坊で困った男に、家主さんが昔、中国にいた24人の親孝行者の話をする。

例えば、王褒(おうほう)という人はお母さんが生前雷が嫌いだったのでお墓参りで雷が鳴った時、自分の着ている服を脱いで墓石にかけたとか、孟宗はお母さんにタケノコを食べてもらおうと、竹ヤブに行ったが、雪が積もっていてタケノコがない。ああ、親孝行ができないと嘆き、涙をハラハラと流すと、天に通じたのか、地面からタケノコがニョキニョキと出てきたとか。また呉猛(ごもう)は、家が貧しく夏場蚊がいっぱい出ても蚊帳を買えないので、自分の体に酒を塗って蚊を集め、お母さんにゆっくり休んでもらおうとしたが、親孝行の徳で呉猛に蚊は来なかったとか。

暴れん坊の男は

「そんな、体に酒を塗ったりせずに2階の壁に酒を吹きつけて蚊が2階へ行った時、はしごをはずす」「アホ、蚊は飛んで降りるわ」とギャグ満載の噺(はなし)。

せっかく女性初の総理が生まれたのだ。支持率も高市、慎重にご発言を。かつぎ上げた方々、ハシゴを外さないように…と願う。(かつら・ぶんちん=落語家)

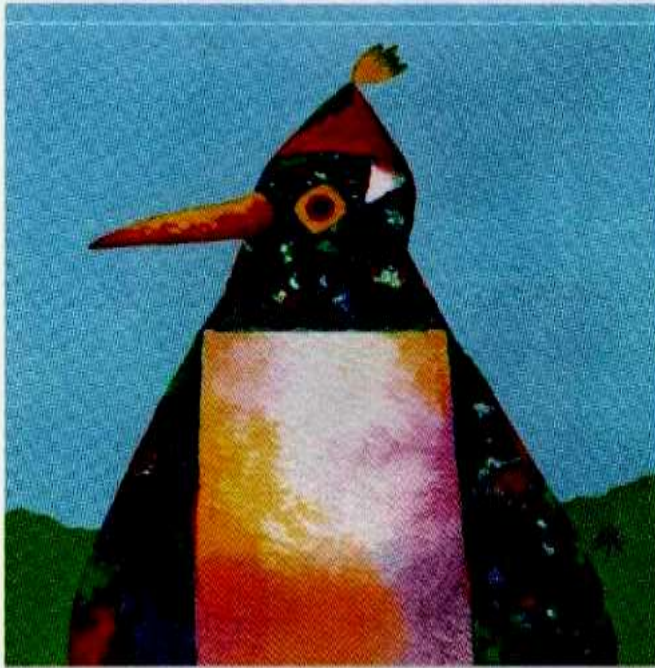
落語「二十四孝」「二十四孝」の言葉は知っているものの二十四の孝行の中味はよく知らず。この話が一番有名な話なのだろう。9・10・11月 3ヶ月 続けて 文珍さんも高市首相がらみ。この秋 日本の政治は混沌 先行きがみんな気になる。そして、熊出没 対策先進県と言われる兵庫でも。どうか 情報採取にご留意ください。熊も悪い熊と良い熊がいると。



## 5. 仲間からの定期便

M.A さんからの定期便 今日の言葉 ニューモラル誌 11 月号より

### 「日本らしさ」に心を向ける



### 価値観の違いを 認め合う

ニューモラル 今月の言葉



より良い人間関係を築くためには、相手が自分とは違う環境で育ってきたということに思いを巡らす必要があります。土台が異なれば、お互いの価値観も違ったものになるでしょう。この点を理解していれば、たとえ意見が食い違ったとしても、お互いの考えのどこに違いがあるのかを冷静に探る中で、意見を擦り合わせる事ができるのではないのでしょうか。

相手の言葉に耳を傾け、「違い」は「違い」としてそのまま受け止めた上で相手の理解に努めることは、自分の持ち味に気づくことにもつながるでしょう。

### 出会いは「自らを見つめ直す機会」

私たちは自分とは価値観の異なる人に出会ったとき、「この人とは分かり合えない」と決めつけて、できるだけ関わらないようにしたり、無関心を買ったりすることはないでしょうか。これは他国の人に対するときだけでなく、日本人同士の間でもいえることかもしれません。

しかし「異なるもの」に触れることで自分自身を見つめ直し、自らのアイデンティティーに対する自覚を深めたり、考え方の幅を広げたりするきっかけが得られることもあるのではないのでしょうか。

「自分と同じ」ではないからこそ「相手から学ぶこと」があるのです。

「日本らしさ」を形づくってきたものとは、先人たちにとっては「当たり前」と思えるほどに小さな心づかいや小さな行いの積み重ねだったのではないのでしょうか。

か。しかし今、私たちが無自覚に生活する中で「日本らしさ」が失われていくとしたら、どうでしょう。

自国の先人たちが培ってきた文化を大切に思えない人が、同じように他国で培われてきた文化に対して、心から敬意を払うことができるでしょうか。自国の文化に愛着を持ち、これを大切に守り伝えようとする意識を持つことは、他国の文化を尊重する態度を養う第一歩といえます。さらには「互いに教い合う」という姿勢で誠実に向き合う中でこそ、私たちの文化と社会はより豊かなものになっていくのではないのでしょうか。

姿勢で誠実に向き合う中でこそ、私たちの文化と社会はより豊かなものになっていくのではないのでしょうか。



- ◆ 今日日本ではインパウンドの課題が数々あり、世界でも国際協調に数々のひずみが生じています。「同じでないから相手から学ぶ」頭ガツンと撃たれました。そうですね。この姿勢が価値観の違いを乗り越えるキー。ふと 金子みすずの詩が頭に浮かび、広がってゆきました。





この11月各地で美しい紅葉が見られ、仲間からも色々思いを込めた紅葉の便りうれしい便り  
H.Eさん他 多くの仲間から 各地の紅葉の秋景色が送られてきました。ありがとうございます。  
また、T.Oさんからは落葉が面白いと GIF アニメにして送っていただきました。  
ありがとうございます。



仲間からも色々思いを込めた紅葉の便りうれしい便り ありがとうございます

From Kobe Mutsu Nakanishi



## 6. 今回のHP 更新概要 今回更新のトピックス

### 今月の掲載 トピックス2025年10・11月

#### ■10月幸福を運ぶコウノトリにも出会えたうれしいコスモスの秋



うれしいコスモスの秋

加古川西岸 志方広尾の里のコスモスとの出会い  
もう 通い始めて もう何年になるだろう  
爽やかな秋の風に吹かれて 揺れるコスモスは  
美しい乙女のごとく愛らしい  
花言葉は「乙女の真心」「謙虚」「調和」  
思わず 大空を見上げて 秋の空気を胸一杯

2025.10.25. From Kobe Mutsu



#### ■11月 楽しみにしていた氷ノ山林道秋の観察会に参加 素晴らしいブナの森と共に珍しい野草にも出会えました。

また、毎日の散歩道で眺める紅葉の美しさ再認識再認識。神戸の秋景色をスライド動画にして楽しんでいます



スライド動画 神戸の秋景色 Photoの上でClick BGMと共に動画が再生します お暇なときにどうぞ

<https://infokkna2.com/ironroad2/2025htm/R0712.htm#TOPICS>

#### 鉄の話題 【鉄創世記プロジェクト通信 転記】

ツタンカーメン王墓出土隕鉄製ウジャト(ホルス)の目 復元完了報告

興味津々で心待ちの隕鉄製「ホルスの目」復元完了の速報が村上教授より届きました

#### ■鉄創世記プロジェクト(6)受信転記

[R0711TetsuSouseiki\(5\)web.pdf](https://infokkna2.com/ironroad2/2025htm/R0711TetsuSouseiki(5)web.pdf)

ホルスの目復元完了報告が届きました

ツタンカーメン王墓出土隕鉄製ウジャト(ホルス)の目 復元完了報告

このプロジェクトでは利器(刃物)以外の隕鉄製鉄器にも挑むことを新たなチャレンジの目的として設定し、最も複雑で難しいとされるエジプト、ツタンカーメン王墓より出土した「ウジャトの目」にも挑戦。

昨日、完成品が大学に送られてきました。

本日手にして言葉が出ませんでした。その美しさと隕鉄への加工が可能であったことに驚きました。

私の感動を本日に中へ支援者のみなさまと一刻も早く共有したく速報させていただきます。

2025.11.4. 発信 人類・鉄創世記プロリーダー 愛媛大学教授 村上恭通

鉄創世記プロジェクトで復元された2つの隕鉄製のウジャト(ホルス)の目



野依克彦・佑月復元隕鉄製「ウジャト(ホルス)の目」



隕鉄に金象嵌されたホルスの目



裏面の小さなイチヨウの葉  
中央に大きな亀裂が見られる

[https://infokkna2.com/ironroad2/2025htm/iron21/R0711TetsuSouseiki\(6\)web.pdf](https://infokkna2.com/ironroad2/2025htm/iron21/R0711TetsuSouseiki(6)web.pdf)



◎ 更新後記 2025年一年間を振り返りつつ 2025年10・11月のHP更新。

HPをPCでもスマホでもきれいに见られるようにしようと取り組んで、それがなかなかうまくゆかず、時間があつという間に過ぎてしまつて、いつも更新が遅れ気味。

おまけに毎年定期的にデジカメで季節の変わり目として記録してきた四季折々の移り変わりも随分変化したと思える昨今。自分の思っている季節感と現実の乖離がますます広がっていると感じる時代に。

これが、地球規模の温暖化と激甚化する気象変化 地球暴走目前といわれる中で、世界協調はままならず、先がよくわからぬ厳しい時代に。おまけに高度情報社会の現実には厳しいもの。そのほころびがここかしこ。

真偽のわからぬ膨大な情報に世界が振り回され、大国の横暴に振り回される時代に。

自分の立ち位置をしっかりと確かめたくて、気になる情報を新聞・Webから収集。

自分を見つめつつ、情報提供することに終始した1年でした。

もうHP掲載の意味付けもなくなってきて、閉じようかとも思うのですが、一年を通じて、自分が歩いてきた道。

世界が混沌 先が見えぬ時代、自分の眼で見た行動記録と集めた資料は自分の立ち位置確認のベース。

毎日老化と向き合う歳になり、資料作りもままならず、いつストップするかわかりませんが、ゆっくりと周りを眺めつつ今を記録に残そうと。まあ 独りよがりの自分勝手なHPですが、そんな目でも眺めていただければ幸いです。

引き続きよろしく。

本当に色々な事があつた一年 でもあつという間に1年が経ってしまいました。

「今までとは違ふと感じる」事 これが老化か？」

と向き合う一年。 ”我が身ばかりでく、身の回りでも次々と色々ありました。

振り返れば、行動半径も狭まり、ほぼ毎日を神戸で過ごした一年でもありました。

でも 身体能力は衰えたとはいえ、まだまだ好奇心もあり、足も動く。

毎日散歩で眺めた景色 そしてインターネット・新聞で知った情報を集めての行動記録メモ作りの1年。

スライド動画の手法で、季節の移ろいをその都度とらえたPhoto Fileばかりになってしまいました。

もうHPに掲載記録したFileを引っ張り出すこともないかもしれませんが、激動の時代の生のデータ。

特に近年のスマホの時代になって、

「真偽がわからぬ情報の氾濫 それも「数頼みの記録の残らぬ言いつばなしの無責任さ」

穏やかな未来が訪れるようにと願いつつ一年です。

「高齢者は早く表舞台から退陣せよ」との声を意識しつつも、片隅にはこんなDataも残っていると思えばいいなあ。。

少数の意見も真摯に受け止め、聞き入れる余裕代がなければ決して革新の時代は生まれない。

「瓢箪から駒」「おもいがけぬ会話・討論」が引き金のアイデアは数知れず。

同調・知識が知恵にならないと……

大国の横暴が国際協調を崩し、対立をあおる時代の中にいる今

鷺田清一先生の神戸新聞「汀にて」木漏れ日のように密室の関係をほどく力 には感銘を受けた

また、今 つくづく「多くの人に助けられつつ生きている」と感じる一年でした。

そんな尺度を持ちつつ老化と向き合う毎日 元気に前向かねばと。

また 勝手なぶつぶつです。

お互い今元気でいることに感謝しつつ、来年も前向いて。

God be with You!! 今日も一日 Nice Day!! と ありがとうございます  
2025年師走 From Kobe Mutsu Nakanishi

2025年「和鉄の道・Iron Road」を振り返って	
HP 和鉄の道 2025年掲載記事	
【和鉄の道・Iron Road 2025：鉄の話題 全16編】	
■ 限鉄素材による限鉄鉄器原始鍛冶復元 鉄創世記プロジェクト通信の転記	6篇
■ たたら製鉄・たたら歴史の関連	3篇
■ インターネット・新聞ニュース：低炭素社会実現へ 日本の鉄鋼再生の道	7篇
◆ その他 Review Document	2篇
◆ スライド 動画	1件
【風来坊・Country Walk2025 全28篇+積み残し2件】	
■ 近畿 walk	27篇
■ その他 各地walk	0篇
◆ その他 Review Document	1篇
◆ スライド 動画	27件+積み残し2件
【四季折々・From Kobe 全9篇+収録添付16件】	
■ 神戸季節の便り	9篇
▼ 神戸季節の便り収録	
◎ 桂文珍落語的見聞録 神戸新聞 整理転載	6篇
◎ 気になるニュース インターネット・神戸新聞コラム他	10篇